

# Newsletter

Vol.51 2024.3.8

日本養護教諭養成大学協議会

日本養護教諭養成大学協議会  
ニューズレターVol.51  
会 長 遠藤伸子 (女子栄養大学)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会副会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	各委員会等活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2023年度総会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	役員選挙結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
養成教育セミナー報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	退任に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
次年度の活動計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3	関係団体連絡会報告・協議会活動報告・・・・・・・・	6



## 副会長あいさつ

副会長 竹鼻ゆかり  
(東京学芸大学)

### 任期を終えて

各地の花だよりが楽しみな時期となりました。先生方には、年度末を迎えお忙しい時期をお過ごしのことと存じます。

本協議会の目的は、養護教諭養成に関わる大学が、相互の提携と協力によって学術と教育の発展に寄与し、養護教諭養成の進展に関わる高等教育機関の使命達成に貢献することです。具体的には、養護教諭養成の教育課程や制度に関する研究や事業、養護教諭養成に従事する教員の資質向上を図る事業を行うこと、また、そのための情報交換や連絡協議を図ること、加えて養成に関する社会的活動や提言などを行うことです。

この目的を達成するため、今期は、従来行ってきた総会とフォーラム、セミナーを、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン配信に切り替えながら、企画運営して参りました。また、養成制度・カリキュラム委員会とファカルティ・ディベロップメント(FD)検討委員会が精力的な活動を行って参りました。養成制度・カリキュラム委員会では「養大協コアカリ2020」の効果的な活用方法の検討に取り組みました。ファカルティ・ディベロップメント(FD)検討委員会では、養護教諭養成の教育方法論の検討として、評価の観点と基準を明確にしたルーブリックの活用に関

関するワークショップを開催しました。この委員会活動は、養護教諭養成教育の向上に少なからず寄与できたのではないかと自負しております。なお委員会の活動にあたっては、全国から募った委員の方々に多大なご協力をいただきましたことを、改めてお礼申し上げます。

今後も日本養護教諭養成協議会は、委員会活動をはじめとし皆様のお役に立てる活動をして参る所存です。総会はオンライン配信とすることで、スムーズな議決が行えるようにする予定であります。本会の運営にあたり、皆様からのご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

さて、2023年度末をもちまして日本養護教諭養成大学協議会の役員は、3年間の任期を終えます。今期は次に示すとおり、日本全国の多様な大学から選出された役員によってその任を務めました。

- 会 長 遠藤伸子 (女子栄養大学)  
副会長 池添志乃 (高知県立大学)  
竹鼻ゆかり (東京学芸大学)  
理 事 今野洋子 (北翔大学)  
大川尚子 (京都女子大学)  
鎌塚優子 (静岡大学)  
亀崎路子 (杏林大学)  
鈴木裕子 (国土舘大学)  
松枝睦美 (岡山大学)  
三森寧子 (千葉大学)  
監 事 西岡かおり (四国大学)  
中西唯公 (順天堂大学)

3年の任期を無事に終えることができましたのは、会員校の皆様のご協力のおかげです。改めて感謝申し上げます。

## 2023年度総会を終えて

開催日時:2023年9月8日

開催方法:オンラインによる開催

2023年度の総会・講演は、オンラインでの開催、養成教育セミナーは、現地での開催となり、総会・講演、養成教育セミナーともに多くの会員校の先生方にご参加いただき、無事終了することができました。アンケートでも9割を超す出席者の方々から、今後の活動方針、運営のあり方等を検討する上で大変貴重なご意見をいただきました。心より感謝申し上げます。

講演についても「最新の教員養成の動向を伺うことができ、大変勉強になった。」「今後の学内のカリキュラム改正に向けて参考になった。」「最新の養護教諭をめぐる動向、養護教諭の役割と求められる職務について学ぶ機会となった。」など教員養成や養成大学としての在り方について振り返り、学びを深めることにつながる貴重なご講演であったとのご意見を多数いただきました。現地開催となった養成教育セミナーにおいても、三木先生のご講演をとおして学びを得ることができたとともに、コアカリキュラムの自身の大学での活用など他大学の先生方との交流を通して熟考することができた機会となっていたことがアンケート結果から伺えました。

今年度の総会・講演、養成教育セミナー開催につきまして、会員校の皆さまのご協力のもと実り多きものとなったこと、あらためてお礼申し上げます。今後も会員校の皆様との交流をとおして、ニーズに沿った協議会運営を行いたいと思っております。今後ともご助言、ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

2023年度の総会は、9月8日（金）にオンラインにて開催いたしました（議決権を有する会員校135校のうち参加88大学、委任状24大学）。

竹鼻副会長より、開会の挨拶がなされ、昨年度に引き続き、オンライン開催の中、多くの会員の方々にご参加いただけたことに感謝が述べられました。総会議長として、丸井淑美先生（日本赤十字秋田看護大学）、籠谷恵先生（東海大学）が選出され、以下の議題が審議並びに報告されました。投票はzoom機能を用いて行い、委任状を含め、過半数を超えた場合に承認いたしました。

- 議題1 2022年度事業報告：池添より報告され、承認されました。
- 議題2 2022年度決算報告：松枝理事より報告され、承認されました。
- 議題3 2022年度監査報告：中西監査委員、西岡監査委員により報告され、承認されました。
- 議題4 2023年度事業（中間）報告：池添より報告され、承認されました。
- 議題5 2023年度修正予算（案）：松枝理事より提案され、承認されました。
- 議題6 2024年度事業計画（案）：池添より提案され、承認されました。
- 議題7 2024年度予算（案）：松枝理事より提案され、承認されました。

（文責：池添志乃）

### 2023年度講演「学校保健に関する最新情報について」

#### 『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方について」

総会に引き続き、2つの講演をうかがいました。まず、文部科学省初等中等教育局学校健康教育・食育課健康教育調査官松崎美枝氏より、「学校保健に関する最新情報について」。養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議の「議論の取りまとめ」と、それをふまえて令和5年7月に公表された「標準的な職務の明確化に係る学校管理規則の参考例」に関する説明をはじめ、令和6年度概算要求に盛り込まれた「学校保健推進体制支援事業」「養護教諭の業務の在り方に関する調査研究事業」、感染症やアレルギー疾患への対応、プログラムの投与等、たくさんの最新情報をご提供いただきました。養護教諭養成担当者として常に動向を把握し知識を更新していく必要があり、たいへん参考になったと好評でした。

次に、文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員免許・研修企画室長榎原哲哉氏より「『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方について」と題し、令和4年12月の中央教育審議会答申の内容と、それに関連する教員養成の動向についてご説明をいただきました。教員採用試験の早期化や教育実習の見直し（履修形式の柔軟化や学校体験活動の積極的活動）等の改善の方向性のほか、最短2年間で二種免許が得られる教職課程の特例的な開設や、実務家教員における課題等の話題も取り上げられ、多くの関心を集めていました。限られた時間ではありましたが、講演後に質疑応答の時間もあり、充実した学びを得ることができました。

（文責：鈴木裕子）

## 養成教育セミナー報告 2023年9月7日 きゅりあんにて開催

今年度の養成教育セミナーは、メインテーマを「『養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）コアカリ2020』の活用について」として対面にて開催しました。本協議会が作成した「養大協コアカリ2020」を活用することで、どの学問体系を基盤とする養護教諭養成課程においても、卒業時に習得しておくべき力の明確化を図ることができ、養護教諭の資質の担保につながると考えています。

今期の検討委員会では、「養大協コアカリ2020」の効果的な活用方法の検討について取り組みました。養成教育セミナーでは、講演会や2年間の調査結果の報告、ワークショップを通して、「養大協コアカリ2020」の周知と会員校での活用拡大を目指しました。内容は、(1) 日本養護教諭養成大学協議会「養大教コアカリ2020」学生アンケート調査報告 (2) 日本養護教諭養成大学協議会「養大教コアカリ2020」の活用についての調査報告 (3) 「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議報告」講師：女子栄養大学名誉教授、日本養護教諭関係団体連絡会会長 三木とみ子先生 (4) 分科会（グループワーク） (5) 全体会（各グループからの報告）でした。

三木とみ子先生からは、子どもの複雑化・多様化している健康課題や変化する社会状況を見通しながら、養護教諭に求められる資質能力は何かを、調査研究協力者会議の中で議論されてきた視点、キーワードをふまえて検討していくことが重要であることが示されました。またそのためにも、時代に即したコアカリキュラムの検討を継続して行っていくことの必要性が述べられました。

参加者からは、コアカリの理解を深め、また活用方法や、「今後の養成に必要なことを話せた有意義な時間でした。」「それぞれの先生方の取組や活用等について、情報交換ができました。対面での交流をさせていただきこれまで接点がなかった学校の先生方とつながりをつくることができました。」といった感想が寄せられました。

(文責：大川尚子)

## 次年度の活動計画について（会員校の声より）

3月末日で今期役員の任期が終了となるにあたり、総会をはじめ各種イベントを通じて戴いた会員校の皆様の声を次年度以降の活動に反映していきたいと思っています。

そのため、新規役員に以下のことを引き継ぎます。

1) 総会・講演、養成教育セミナーの開催日について  
新型コロナウイルス感染拡大以前の総会・養成教育フォーラム（講演）、養成教育セミナーは、2日連続の同日開催であったため、出席できなかった場合には、その年のイベント全て参加できなくなってしまうというデメリットがあった。そのため、今後は各イベントの開催日を切り離し、なるべく多くの会員校に参加して戴ける機会を多くしたい。

2) 開催方法について

① 双方向で行えた方が効果的であるとの意見が多いワークショップや情報交換会（懇親会）などは対面開催で、一方、総会や講演会などオンラインの方が視聴可能な方が増えるものについてはオンライン開催としたい。

② 年1回は、対面での情報交換会にて会員交流会を企画したいため、FD検討委員会や法制度・カリキュラム検討委員会で調整し、年1回以上は対面開催のイベントを行いたい。

3) 理事会について

経費節約のため、通常理事会は、オンライン開催を基本とし、各種対面イベントの時期と重ねることが可能な場合は、対面開催を検討して欲しい。

4) 講演内容について

文部科学省による最近の情報について知りたいという要望が多いため、今後も継続したい。

なお、例年、役員会で講師の選定について協議して決定してきたが、今後は会員からの要望を参考に担当を決定するために、講師選定においては簡単な調査を推奨したい。

(文責：遠藤伸子)



## 各委員会報告

### 養成制度・ カリキュラム検討委員会報告

委員長 大川尚子 (京都女子大学)

本検討委員会では、協議会独自の「養大協コアカリ2020」を活用することで、養護教諭の資質の担保につながると考え、今期の検討委員会の活動は、コアカリキュラムの効果的な活用方法を検討することを目標としています。

昨年度、教職実践演習を履修する検討委員の大学の4年生を対象に、「養大協コアカリ2020」を活用した調査を実施しました。養成系の違いに関わらず、養護教諭を目指す学生が十分学んだことは何か、学習が不足していることは何かを明らかにし、論文投稿という形で、「養大協コアカリ2020」を周知したいと考えています。

また、会員校の全ての会員の方々や各都道府県・指定都市教育委員会の養護教諭担当の指導主事の方々にも、「養大協コアカリ2020」の効果的な活用方法を検討することを目的とし今後、「養大協コアカリ」の改訂版を作成するときの資料とするために、調査を実施しました。

昨年9月の養成教育セミナーでは、講演会や2年間の調査結果の報告、ワークショップを通して、「養大協コアカリ2020」の普及や今後の改訂に向けて、他大学でも活用拡大をしていただけるようなセミナーになったと考えます。

### 広報・渉外委員会報告

亀崎路子 (杏林大学) 鈴木裕子 (国士舘大学)

本検討委員会は、このニュースレターの編集・発行と協議会ホームページの管理を主に担当しています。現在、ホームページのリニューアルに向けて検討を行っています。より見やすくわかりやすいホームページにすることで、会員校のみならず一般の皆様にも本協議会の活動を知っていただけるようにしたいと考えています。ご要望等がございましたら、できるだけ具体的なお意見を事務局までお寄せいただければ幸いです。

新しいホームページは4月から公開できるよう準備を進めております。ご連絡は、ぜひお早めにお願いたします。

### ファカルティ・ディベロップメント (FD) 検討委員会報告

委員長 鎌塚優子 (静岡大学)

#### 活動報告

##### 1) 委員会報告

第3・4回委員会：日時：9月11日(月)15:30~18:45、12日(火)10:00~12:00

場所：レイアップ御幸中ビル(静岡市) CSA貸会議室5A

議事内容：ワークショップの内容検討、シミュレーションの実施

参加者：鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

第5回委員会：日時：11月29日(水)10:40~12:00  
(オンライン開催)

参加者：齋藤、出口、西岡、三森

議事内容：ワークショップの振り返り、コンテンツについて、コンテンツの評価項目の検討

##### 2) ワークショップ報告

日時：2023年10月8日(日) 13:30~16:30

場所：Basis Point Lab. 上野店 (東京都台東区東上野2-18-9 ファーストビル5階)

テーマ：ルーブリック評価作成ワークショップ  
ー深い学びを支える評価ー

評価の観点と基準を明確にしたルーブリックを活用することで、レポートやプレゼンテーション、実習やグループワークなどに対する迅速なフィードバックや公正な評価を行なうことが容易になります。本ワークショップでは、レポート、プレゼンテーション、グループワークの3課題について、実際にルーブリックの作成、検討を行い、評価の基本的な考え方や活用方法について考えました。

参加者：21名

<会の流れ>

13:30~14:00 (30分) 講義

14:00~14:10 (10分) アイスブレイク

14:10~15:50 (100分) グループワーク

15:50~16:20 (30分) 全体共有

16:20~16:30 (10分) ラップアップ

ワークショップ終了後に、作成したルーブリックを配信し、参加者の皆様に共有しました。参加者からは、「達成感が大きかった」「目指すものが共通していることが感じとれた」「多様な評価の観点が創出された」「一つの形として完成したことで、今後作成してみようと思えた」「モチベーションがあがった」等、満足度の高い研修会となりました。

## 役員選挙結果の報告

選挙管理委員長 高田恵美子（畿央大学）

2024年度日本養護教諭養成大学協議会の理事選挙は、選挙権及び被選挙権を有する135大学の評議員を対象に実施いたしました。

2023年7月16日に選挙管理委員3名（高田恵美子・岡本啓子・丹佳子）が四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパスにて開票を行いました。投票数は98（投票率72.6%）、無効数は4、有効投票数は94（有効投票率95.9%）でした。

開票の結果、上位理事選挙当選者に通知をし、以下の10名※より理事承諾を書面で提出して頂きました。任期は2024年4月～2027年3月です。

- ・荒川 雅子（東京学芸大学）
- ・池添 志乃（高知県立大学）
- ・今野 洋子（北翔大学）
- ・遠藤 伸子（女子栄養大学）
- ・鎌塚 優子（静岡大学）
- ・亀崎 路子（杏林大学）
- ・齋藤 千景（埼玉大学）
- ・鈴木 裕子（国土館大学）
- ・西岡 かおり（四国大学）
- ・三森 寧子（千葉大学）

※五十音順



## 事務局からのお知らせ

4月から新体制になりますが、事務局の変更はありません。引き続き宜しく願い致します。なお、4月には、例年行っている評議員登録や基本調査、年会費のお知らせのご案内を郵送させていただきます。評議員を交代される大学様につきましては新評議員様への引継ぎをお願い致します。

## 退任にあたって 大川尚子（京都女子大学）

理事として、3期9年間たいへんお世話になりました。教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会の委員長として、2015～2017年度は「養護教諭の実践」に必要な力が見えるように根拠をあげて示しながら、すべての会員校の行う教育の質を高めることが重要であると考え活動しました。2018～2020年度では、これまでの検討委員会の成果を元に、各大学の養成教育へ活かすことのできる本協議会独自の「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を作成しました。コアカリを活用することで、どのような学問体系を基盤とする養護教諭養成課程においても、養護教諭が卒業時に習得しておくべき力の明確化を図ることができ、養護教諭の資質の担保につながると考えます。2021～2023の3年間はコアカリの活用方法や周知を中心に活動してきました。

今後、免許法の改正時には、「養護に関する科目のコアカリキュラム」の根拠となるようなさらなる検討を期待します。最後に、会員の皆様、検討委員の皆様、理事の皆様に助けていただき、任期を終了できますことに心より感謝申し上げます。今後の本協議会の益々のご発展を祈念しています。

## 退任にあたって 松枝睦美（岡山大学）

前期を含めて6年間にわたって、役員として、皆様には大変お世話になりました。前期はFD検討委員会、今回は会計として、皆様とともに活動ができたことを心より御礼申し上げます。最初の頃は、未熟な点や考えが足らずな点などで、たくさんのご迷惑をおかけしたであろうと思います。また、コロナ禍で通常とは異なる対応が求められる中で、手探りの状況での活動となり不安もございました。そのような中でも皆様からの温かい助言や励ましのお言葉を受けまして、無事役割を全うすることが出来ました。皆様には感謝しかございません。本当にありがとうございます。

過ぎてしまえば早いものですが、活動を通して交流ができたこと、新たな知見を得る機会をいただけたことなど、充実した時間を過ごすことが出来ました。今後は、一会員として、またお目にかかることを心から楽しみにいたしております。協議会の一層のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## 養護教諭関係団体連絡会報告

2023年11月9日（木）に文部科学省健康教育・食育課を訪問し、南野健康教育課課長に挨拶した後話し合いを行いました。

### 【出席者】

養護教諭関係団体連絡会のメンバー（本協議会からは、遠藤会長、池添副会長が参加）と健康教育・食育課課長補佐（上遠野奈保子氏）、同課調査官（松崎美枝氏）

### 【話し合いの概要】

各団体の設立目的や活動内容の紹介をした後、「養護教諭配置の見直し」や「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」の取りまとめとの関連で情報交換や今後の課題等について議論しました。

なお、本協議会については、「協議会設立の趣旨と目的」、「主な事業内容」と「近年の活動」について説明しました。

また、協力者会後の議論の取りまとめにも記述されましたが、全国的に養護教諭の質の水準を担保するためにも教諭の教科のコアカリキュラム設定と同じように養護教諭の養護に関する科目のコアカリキュラムを設定する必要があることが話題にのぼりました。このことについては、本協議会でもコアカリキュラムを作成した上で、昨年は活用状況についての調査を行っています。

今後、2020年度版の養成大学協議会のコアカリキュラムの改訂作業を進める際には、養護教諭関係団体連絡会とも連携しながら検討できればよい等の意見が出されました。

（文責：遠藤伸子）

## 会計より

2023年度は特別措置の年度であり、例年とは異なる会計となりました。アフターコロナとして活動の方法も新しく取り入れたこと、変更したこと、継続すべきことを見極める年度でもありました。これらの執行状況の詳細は、次年度の総会にて報告させていただきます。

なお、2024年度は、新しい担当となります。会員校の皆様ならびに新担当の役員に、ご不便ご迷惑をおかけしないよう、万全の引き続きを行う所存でございます。皆様からお預かりした大切な会費を、引き続き大切にに使わせていただきます。

（会計担当：松枝睦美）

## 協議会活動報告

### 2023年度第2回役員会

日時：2023年7月2日（日）13：00～15：00

オンライン開催

＜出席者＞今野、遠藤、大川、鎌塚、鈴木、竹鼻、松枝、三森（記録：今野）

＜協議事項＞総会、養成フォーラム、セミナーについて、ワークショップについて、総会資料について

＜報告事項＞各委員会報告

### 2023年度第3回役員会

日時：2023年8月2日（水）10：40～11：40

オンライン開催

＜出席者＞池添、遠藤、大川、亀崎、竹鼻、松枝、三森（記録：三森）

＜協議事項＞総会、講演について

### 2023年度第4回役員会

日時：2023年8月21日（月）14：00～15：00

オンライン開催

＜出席者＞池添、遠藤、大川、亀崎、竹鼻、松枝、三森（記録：亀崎）

＜協議事項＞総会、養成フォーラム、セミナーについて、ワークショップについて、総会資料について

＜報告事項＞各委員会報告

### 2023年度第5回役員会

日時：2023年10月8日（日）10：00～12：00

場所：Basis Point Lab. 上野店

東京都台東区東上野2-18-9 ファーストビル5F

＜出席者＞池添、大川、鎌塚、亀崎、鈴木、竹鼻、松枝、三森（記録：鎌塚）

＜協議事項＞総会・講演・セミナーの振り返り、次期役員引継ぎ日程と内容

＜報告事項＞各委員会報告

### 2023年度第6回役員会

日時：2024年2月12日（月・祝）13：00～14：15

オンライン開催

＜出席者＞池添、遠藤、大川、鎌塚、亀崎、鈴木、竹鼻、松枝、三森（記録：三森）

＜協議事項＞HPについて、会費について、今期の総括

＜報告事項＞新規加盟校、各委員会報告

（庶務担当：三森寧子）

日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.j-yogo.jp/>

【事務局】女子栄養大学

TEL&FAX：049-282-3609（事務局）

Mail：yogojimu@j-yogo.jp

